



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年2月4日

上場会社名 株式会社中京医薬品 上場取引所 大  
 コード番号 4558 URL http://www.chukyoiyakuhin.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 正行  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 辻村 誠 TEL 0569-29-0202  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	4,859	△0.6	279	70.8	286	70.3	155	57.1
24年3月期第3四半期	4,889	△8.8	163	△55.7	168	△56.5	99	△35.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	15.30	—
24年3月期第3四半期	9.82	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	4,866	2,513	51.6	246.04
24年3月期	5,158	2,389	46.3	235.33

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 2,513百万円 24年3月期 2,389百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
25年3月期	—	2.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,900	△3.7	130	266.6	135	225.2	60	△67.9	5.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものではありません。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期3Q	10,785,734株	24年3月期	10,785,734株
25年3月期3Q	571,251株	24年3月期	632,629株
25年3月期3Q	10,183,396株	24年3月期3Q	10,105,137株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(5) セグメント情報等 .....	7
(6) 重要な後発事象 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、東日本大震災の復興関連需要などを背景に設備投資に持ち直しの動きがみられ、緩やかな回復傾向にある一方、欧州債務危機の再燃、夏場の電力不足も懸念されるなど、先行きの不透明感は依然として払拭できない状況にあります。

このような環境の中で、当社は「もっと健康、ずっと幸せ。」を企業スローガンとして定め、お客様が心身共に健康で幸せな社会生活を営むことに貢献し続けていくことを使命として捉え、より一層お客様に「健康」と「幸福」をお届けできる企業を目指すために邁進してまいりました。また、お客様本位の営業を徹底し営業効率の向上と販売管理費削減による財務基盤の強化にも取り組みました。

家庭医薬品等販売事業におきましては、前々期の営業所統廃合により効率的になった営業体制と強固な財務基盤を維持継続しつつ、中期経営計画に基づき利益を重視した新たな経営戦略を推進してまいりました。

またアクアマジック事業部で展開いたしております売水事業につきましては、これまでのリターンブルボトルの拡大に加え、今期4月よりボトルの回収が不要なOne-Way方式の稼働が始まり、全国展開による営業エリア拡大と顧客数の増加など事業拡大に努めました。

その結果、当第3四半期累計期間における売上高は4,859百万円（前期比0.6%減）、営業利益は279百万円（前期比70.8%増）、経常利益は286百万円（前期比70.3%増）、四半期純利益は155百万円（前期比57.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①家庭医薬品等販売事業（小売部門・卸売部門）におきまして、小売部門においては、一人当たりの生産性が向上し、品目別においても日用品等の販売が増加し特に10月以降前期同期比で増収となりました。卸売部門においては、エアーマスクなどの新規取引の開拓に注力し大手量販店やドラッグストア等に幅広く投入されました。また水素水（ボトル缶）の販売も堅調に上がってきたためセグメント利益も前期に比べ増加となりました。その結果売上高は4,481百万円（前期同期比1.6%減）、セグメント利益254百万円（前期同期比47.1%増）となりました。

②売水事業部門におきましては、昨今の健康志向ブームによる飲料水へのこだわりと、拡大するミネラルウォーター宅配市場の成長の波に乗り、早期に中核事業の1つとして確立することを目標としております。また今期よりOne-Way方式の導入により営業エリアが拡大されたと同時に小売部門の顧客への拡販も積極的に取り組みを開始しました。その結果売上高は373百万円（前期同期比14.2%増）、セグメント利益24百万円（前期同期はセグメント損失9百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における流動資産は2,657百万円となり、前事業年度末に比べ334百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少515百万円、受取手形及び売掛金の増加237百万円によるものであります。固定資産は2,209百万円となり、前事業年度末に比べ42百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産その他の増加31百万円、建物及び構築物（純額）の減少13百万円によるものであります。

この結果、総資産は4,866百万円となり、前事業年度末に比べ292百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は1,725百万円となり、前事業年度末に比べ421百万円減少いたしました。これは主に短期借入金の減少490百万円、支払手形及び買掛金の増加152百万円によるものであります。固定負債は627百万円となり、前事業年度末に比べ5百万円増加いたしました。これは主に長期借入金の減少44百万円、固定負債その他の増加36百万円によるものであります。

この結果、負債合計は、2,353百万円となり、前事業年度末に比べ415百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は2,513百万円となり、前事業年度末に比べ123百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加92百万円、自己株式の減少26百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は51.6%（前事業年度末は46.3%）となりました。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年10月26日付けにて発表いたしました業績予想からの変更はありません。詳細につきましては「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 （減価償却方法の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,478,588	963,542
受取手形及び売掛金	438,069	675,335
商品及び製品	350,456	423,338
委託商品	421,825	417,283
仕掛品	133	119
原材料及び貯蔵品	18,509	26,584
その他	295,643	168,024
貸倒引当金	△11,224	△16,851
流動資産合計	2,992,002	2,657,376
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	462,536	448,929
土地	1,226,855	1,226,855
その他(純額)	55,440	86,888
有形固定資産合計	1,744,833	1,762,673
無形固定資産	47,685	55,071
投資その他の資産		
その他	388,284	405,615
貸倒引当金	△14,261	△14,300
投資その他の資産合計	374,022	391,314
固定資産合計	2,166,541	2,209,059
資産合計	5,158,543	4,866,435
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	508,581	661,278
短期借入金	890,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	161,628	71,934
未払法人税等	10,759	37,071
賞与引当金	162,000	92,000
返品引当金	4,276	4,560
その他	410,033	458,843
流動負債合計	2,147,280	1,725,687
固定負債		
長期借入金	138,210	93,398
退職給付引当金	131,511	136,066
役員退職慰労引当金	309,460	318,970
資産除去債務	4,338	4,396
その他	38,439	74,771
固定負債合計	621,959	627,603
負債合計	2,769,239	2,353,290

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	530,950	530,950
資本剰余金	274,115	274,115
利益剰余金	1,861,712	1,954,640
自己株式	△269,446	△243,338
株主資本合計	2,397,330	2,516,366
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8,026	△3,222
評価・換算差額等合計	△8,026	△3,222
純資産合計	2,389,304	2,513,144
負債純資産合計	5,158,543	4,866,435

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	4,889,910	4,859,976
売上原価	1,727,917	1,742,155
売上総利益	3,161,993	3,117,820
販売費及び一般管理費	2,998,297	2,838,147
営業利益	163,696	279,673
営業外収益		
受取利息	394	224
受取配当金	1,561	1,535
受取家賃	12,861	9,042
保険解約返戻金	6,112	2,031
その他	6,483	6,906
営業外収益合計	27,413	19,741
営業外費用		
支払利息	10,609	4,370
支払手数料	10,802	8,534
その他	1,553	134
営業外費用合計	22,965	13,039
経常利益	168,145	286,375
特別利益		
投資有価証券売却益	696	—
その他	54	—
特別利益合計	750	—
特別損失		
固定資産除売却損	64	—
減損損失	21,821	340
投資有価証券評価損	14,486	—
訴訟関連損失	89,661	—
災害による損失	5,944	—
その他	80	—
特別損失合計	132,058	340
税引前四半期純利益	36,837	286,035
法人税、住民税及び事業税	11,081	32,691
法人税等調整額	△73,434	97,495
法人税等合計	△62,353	130,186
四半期純利益	99,190	155,848

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計算書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高						
外部顧客への売上高	3,688,241	867,759	326,715	4,882,716	7,194	4,889,910
計	3,688,241	867,759	326,715	4,882,716	7,194	4,889,910
セグメント利益 又は損失(△)	148,294	25,003	△9,601	163,696	—	163,696

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(主な減損損失)

「小売部門」セグメントにおいて、減損損失21,821千円を計上しております。

II 当第3四半期累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計算書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高						
外部顧客への売上高	3,532,355	949,020	373,266	4,854,642	5,334	4,859,976
計	3,532,355	949,020	373,266	4,854,642	5,334	4,859,976
セグメント利益	213,691	41,156	24,826	279,673	—	279,673

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(主な減損損失)

「小売部門」セグメントにおいて、減損損失340千円を計上しております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。